

平成 24 年度新入職員が 1 年を振り返りました！



★入職して、一年。振り返ってみると、覚えることが多く、また、時間の大切さを実感した一年でした。社会人になると、学生時代よりも圧倒的にやることが増え、それを効率よくこなしていく大切さを実感しました。また、1人～2人だった受持ち患者さんが多くなり、入れ代わりもたくさんあり、様々な経験をすることが出来ました。

★この一年、本当にあっという間に過ぎてしまったと思います。なりたかった仕事につけた喜びと共に、担当になった患者様に対し、必要なリハビリが提供できているのか不安になることや、毎日のリハビリを通じて関わらせて頂き、楽しいと思えることがありました。その都度に先輩方に熱心な指導・アドバイスをして頂き、気付けていない点や自分に足りない面、変わらなくてはいけない点を実感しました。1年目で学んだことを2年目につなげられるよう今後も頑張りたいと思います。

- ★この1年を振り返って、たくさんのことを学び、悩みながらも成長できた1年でした。
辛くて投げ出したくなることもありましたが、たくさん先輩方に支えて頂き、1年を終えることが出来そうです。この1年を活かし、来年度も頑張ります。
- ★本当にあっという間の1年でした。入職当初は右も左もわからない状態で、臨床現場や事務作業などで色々と失敗したりもしました。そのおかげで今日までやってこられたのだと改めて感じています。現在では、担当人数も少しずつ増え、人生経験豊富な患者様方を通じて日々、様々な事柄を学ばせて頂いています。そして今までの人生の中で、最も充実した毎日を過ごせています。
これから先、これまで以上に困難な道のりが待ち構えていることと思いますが、自分が目指す理学療法士像に1日でも早く近づけるよう、これからも日々精進していきたいです。
- ★圧倒的なスピードで毎日が過ぎ去った気がします。一般配属を希望し怒涛の毎日が始まり、本当に一般でよかったと思います、夏頃から肩関節疾患の患者様を徐々に担当させて頂き、治療の中で迷う事ばかりでした。その中で困難であればあるほど勉強し、先輩方に指導を仰ぎ、それが楽しさに変わっていきました。今では、「肩関節専門外来」という当院の強みが、自分の最大のやりがいとなっています。
今後の課題としては、常に自らを律し、数多くある組織の問題点の原因を組織のせいにならず、自らも解決できるよう努めていく必要があると考えています。
組織の特徴といえる「NATO」=No Action Talk Onlyに対しては常に疑問を持ち続け、周りに流されることなく、自らは行動したいと思います。そして、いつでもここから羽ばたけるよう人間性を磨き、どの業界でも渡り合える実力を付けたいと思います。
- ★入職し始めは、とても緊張していたことを覚えています。肩の力が入っていたため、視野が狭くなりがちでした。しかし、先輩方はその度、優しくフォローして下さいました。患者様のことはもちろん、リハビリ課の係りの仕事や病院行事の事も教えて下さいました。4月からは後輩が出来るので、何か困っていることがあれば、フォローしていきたいです。
- ★不安などいろいろあったが、何とか1年やってこられました。先輩方のサポートには感謝しています。病棟Ns・ヘルパーさんへの不満を患者さんから聞くことがあるので、改善できるようにしたい。
- ★・業務の仕事を覚えるのに時間がかかってしまい、ミスが多かった。
・入職時よりも、患者様が在宅に帰るためには何をしたらよいかを考えられる様にはなったと思う。(少しは…)
・他職種とのコミュニケーションがいかに大切な事か(患者様にとって)わかった。
・いつも先輩に助けてもらってばかりの一年だった。
自分が先輩になった時に、そんな先輩になれるのが不安…

★ PTとして働きはじめ、あっという間に一年が過ぎました。

一年目は通常の業務をすることに必死で患者様のことを十分考えることが出来ていなかったと思います。先輩方に色々知識や技術のアドバイスをいただき、何とか一年を過ごすことが出来ました。二年目はもっと自分の力で担当患者様のことを考えられるようになりたいと思います。

★先輩からのメッセージ★

一年間での成長はとてもすばらしく、患者様の担当も増え、信頼関係を築くこともでき安心して任せられるようになりました。

まだミスすることもあります、リハビリテーション課が良い方向に向かうように、チーム全体でフォローし、お互いを感じている事を話しあいながら盛り上げていければ、セラピストとしてだけでなく、良い社会人として、素晴らしい人間として成長していける後輩たちだと信じています！